

**3年生の子どもたちが進んで英語を使おうとする態度を育てる研究
～母語話者等との継続的なコミュニケーション活動を通して～**

1. 設定理由

昨今の急速なグローバル化の進展の中で、異文化理解や異文化コミュニケーションはきわめて重要である。国際社会において、様々な言語や文化を持つ人々と共によりよく課題を解決していく資質や能力が必要とされている。

安房英語部会（小学校）では、自己表現活動を柱としてコミュニケーション活動の充実を図る研究を行ってきた。そして、鴨川市では、早期から英語教育に取り組んできており、幼稚園の段階から英語活動の授業を取り入れている。長狭学園では、1～4年生の外国語活動を中学校英語の免許を持つ小学校教員が担当している。

そして、2017年には、新学習指導要領が告示され、小学校において、中学年に外国語活動が導入され、その目標には、「(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。」とある。

そこで本年度は、英語の母語話者とのコミュニケーション活動を取り入れる学習を考えた。地域に住む英語の母語話者等を外国語活動の授業に継続的に招き、学習した英語表現を実際に使う場面を設定し、英語の母語話者等と繰り返しコミュニケーションを図ることで英語が通じる喜びを実感させた。また、母語話者等とのコミュニケーションの楽しさを実感させ、英語をもっと話したいという意欲を高めたいと考え、本研究テーマを設定した。

2. 研究仮説

- (1) 英語の母語話者等とのコミュニケーション活動を継続的に位置付け展開すれば、3年生においても英語を使う必然性を高めることができるであろう。
- (2) 母語話者等とのコミュニケーション活動において、話す機会や発話量が増えるように学習形態を工夫すれば、進んで英語を使おうとする態度が育つであろう。

3. 研究内容

- (1) 子どもの意識調査における実態把握
- (2) 母語話者等との継続的なコミュニケーション活動について（検証授業）
- (3) 話す機会や発話量を増やすための学習形態の工夫（検証授業）
- (4) 手立ての有効性の検証

4. 結論

- 母語話者等とのコミュニケーション活動を継続的に位置づけることで、母語話者等と英語で話す楽しさや、英語が通じたことの喜びを見出し、進んで英語を話すようになった
- 机の配置や母語話者等、子どもの動きを工夫することで、母語話者等との発話量を増やすことができ、全員の母語話者等とコミュニケーションを図ることができた。

1. 研究テーマ

3年生の子どもたちが進んで英語を使おうとする態度を育てる研究
～母語話者等との継続的なコミュニケーション活動を通して～

2. 設定理由

昨今の急速なグローバル化の進展の中で、異文化理解や異文化コミュニケーションはきわめて重要である。国際社会において、様々な言語や文化を持つ人々と共によりよく課題を解決していく資質や能力が必要とされている。

2014年には、文部科学省から「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～」が提示され、実際のコミュニケーションを行う言語活動を一層重視し積極的に英語を使おうとする態度を育成することと、英語を用いてコミュニケーションを図る体験を積むことが必要であるとされている。

鴨川市では、早期から英語教育に取り組んでいる。幼稚園から英語活動の授業を取り入れ、小学校1～4年生は週に20分、5・6年生に関しては、週に45分間の外国語活動の授業を行ってきた。そのため、鴨川市の子どもたちは幼い頃から英語に慣れ親しんできている。また、長狭学園では小中一貫校の特色を生かし、1～4年生の外国語活動を、中学校英語の免許を持つ小学校教員が担当し、5・6年生には中学校の英語科の教員が外国語活動を担当している。さらに、本研究の対象児童である3年生は、入学してから3年間同じ教員が外国語活動を受け持ってきている。

そして、安房英語部会（小学校）では、自己表現活動を柱としてコミュニケーション活動の充実を図る研究を行ってきた。これまでに、異学年交流によるコミュニケーションの多様化（石井 2012）、クイズによるコミュニケーションの意欲化（小池 2013）、言語への気付きを生かし子どもの興味・関心を高めるための学習指導（佐久間 2014）、コミュニケーション活動を充実させるインプット活動に関する研究（石井 2015）と継続的に研究を行い、コミュニケーション活動を充実させるための効果的な手立てを明らかにしてきた。そして昨年は、コミュニケーション活動を充実させるためのインテイク活動の在り方に関する研究（江澤 2016）を行った。インテイク活動でインフォメーション・ギャップを活用した単元構成をし、子どもの主体的なコミュニケーションを促すことができた。

そして、2017年には、新学習指導要領が告示され、小学校において、中学年で「外国語活動」を、高学年で「外国語科」が導入されることとなった。外国語活動の目標には、「(2) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。」とある。また、指導計画の作成と内容の取り扱いには、授業を実施するに当たり、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材の協力を得る等、指導体制の充実を図り、指導方法の工夫を行うこととされた。

これらを踏まえ、前年度の成果と課題から、さらに継続的に子どもの意欲化を図るための活動の在り方を考え、本年度は、英語の母語話者とのコミュニケーション活動を取り入れる学習を考えた。地域に住む英語の母語話者等を外国語活動の授業にゲストティーチャー（以下GT）として継続的に招き、学習した英語表現を実際に使う場面を設定し、GTと繰り返しコミュニケーションを図ることで英語が通じる喜びを実感させた。また、GTとのコミュニケーションの楽しさを実感させ、英語をもっと話したいという意欲を高めたいと考えた。

以上のことから、本研究テーマを設定した。

3. 研究目標

3年生の子どもたちの、母語話者等と英語で話したい、もっと関わりたいという態度を育てるためには、どのようなコミュニケーション活動を展開すればよいのかを実践を通して明らかにしていく。

4. 研究仮説

- (1) 母語話者等とのコミュニケーション活動を継続的に位置付け展開すれば、3年生においても英語を使う必然性を高めることができるであろう。
- (2) 母語話者等とのコミュニケーション活動において、話す機会や発話量が増えるように学習形態を工夫すれば、進んで英語を使おうとする態度が育つであろう。

5. 研究内容

- (1) 子どもの意識調査における実態把握
- (2) G Tとの継続的なコミュニケーション活動について（検証授業）
 - ①好きなスポーツは何？ "Do you like ○○ ?", "Yes I do." / "No I don't."
 - ②好きな○○は何？ "What ○○ do you like?" "I like ○."
 - ③行きたい場所はどこ？ "Where do you want to go?" "I want to go to ○○."
- (3) 話す機会や発話量を増やすための学習形態の工夫（検証授業）
 - ①グループでのコミュニケーション活動（第1回～第3回に実施）
 - ②1対1でのコミュニケーション活動 パートA（第2回に実施）
 - ③1対1でのコミュニケーション活動 パートB（第3回に実施）
- (4) 手立ての有効性の検証
 - ①意識調査による実践前後の子どもたちの変容
 - ②授業後の振り返りカードによる実践前後の子どもたちの変容
 - ③G Tによる子どもたちの評価の変容

6. 研究の実際

- (1) 子どもの意識調査における実態把握

以下の5項目について、それぞれを4段階評価とし、意識調査を行った。

（平成28年10月4日 鴨川市立長狭小学校 3年生 調査人数27人）

①外国語活動は好きですか							
とても好き	7	好き	15	あまり好きではない	5	好きではない	0
②外国語活動は楽しいですか							
とても楽しい	9	楽しい	17	あまり楽しくない	0	楽しくない	1
③外国語活動は得意ですか							
とても得意	1	得意	10	あまり得意ではない	8	得意ではない	8
④積極的に英語を使おうとしていますか							
積極的	2	使っている	9	あまり使っていない	10	使っていない	6
⑤英語を積極的に聞こうとしていますか							
積極的	11	聞いている	8	あまり聞いていない	5	聞いていない	3
⑥外国の人と話すのは好きですか							
とても好き	6	好き	7	あまり好きではない	10	好きではない	4

①と②の項目により、多くの子どもたちが、外国語活動を好きで楽しいと感じている。一方、③では、英語は得意ではないと感じている。その理由としては、「発音が難しい」、「表現を覚えられない」、「忘れてしまう」、といった理由が挙げられる。④の積極的に英語を使おうとしているかの項目については、普段の生活で外国の人と会うことが少なく、英語を使う機会がない。⑤の英語を積極的に聞こうとしているについては、授業の際には積極的に英語を聞いている子どもが多い。⑥の外国の人と話すのは好きかどうかについては、好きな子どもは約半数程度であった。ALT とコミュニケーションを図ることが好きな子どももいれば、外国の人と話すことを恥ずかしかったり、緊張したりすると感じている子どももいる。

以上のことから、英語は楽しいけど難しいと感じており、子どもが分かりやすく、英語をもっと話したいと感じる外国語活動の展開が必要である。また、外国の人と会う機会があまりなく、英語の使用頻度も低いため、学習の必要性もあまり感じていない。そこで、英語の母語話者とコミュニケーションを図る機会をもち、話す機会を多く設けることで、母語話者と英語で話す楽しさを実感させたい。

(2) 母語話者との継続的なコミュニケーションについて (検証授業)

本研究では、英語のGTとコミュニケーション活動をする場を年3回設定した。各学期で学習した英語を使い、英語のGTとコミュニケーション活動を行った。

対象学年：鴨川市立長狭小学校 第3学年 27人

①第1回 平成28年7月6日

資料①

単元名 好きなスポーツは何? "Do you like ○○?", "Yes, I do."/"No, I don't."



GT: 計6人 (本校ALT含む。)

鴨川市在住のGT (4人)

- ・イブさん (フランス) ・クリス・ワンさん (アメリカ)
- ・クリス・ハリントンさん (アメリカ) ・ティンクさん (イギリス)

鴨川市役所企画政策課所属の国際交流員 (1人)

- ・ザックさん (アメリカ)

長狭小学校 ALT (1人)

- ・イヴァン先生 (フランス)

第1回目の検証授業は、好きなスポーツについて聞き合うというコミュニケーション活動を行った。子ども4～5人のグループに、一人ずつGTが入り、グループ毎にコミュニケーション活動を行った。子どもたちは、GTが実際に教室に来たことで、GTに興味をわき、英語を話そうという意欲が非常に高まった。自分から進んでGTに質問し、好きなスポーツを聞いていた。GTも笑顔で交流をしてくれたおかげで、子どもたちは楽しく英語でコミュニケーションを図ることができた。

子どもたちの中には、「One more」など、自分が知っている英語を場面に応じて使う姿も見られた。スポーツの質問が終わっ

た後、好きな食べ物やアニメのことなどを質問し、コミュニケーション活動に広がりが見られた。G Tの中には、身振りを交えて英語で雑談を始め、子どもたちは食い入るように話を聞いていた。また、ダンスを披露したり、お手玉を披露したりしたG Tもいて、子どもたちは、とても喜んでいて。

一方で、G Tと目を合わせずに話したり、声が小さかったり、話し終わる時にどうしたらよいかわからない子どもが見られた。そのため、G Tとうまく話せない場面がいくつか見られた。

授業後の子どもの感想

- ・ ぼくは、初めて外国人と話してすごく楽しかったです。
- ・ アキバさんはダンスが得意で、見た目で判断してはいけなかったと思いました。
- ・ 「質問はありますか？」の英語を初めて知りました。
- ・ いろんな質問をして、自分が外国人みたいな気分になりました。外国に行ってもいろんな事を話せそうです。
- ・ どんどん話しかけてくれて楽しかった。日本人と違う発音だった。

考察 ○授業後に感想を聞くと、全員が楽しかったと答えた。G Tとコミュニケーションができたこと、自分の英語がG Tに通じたことに喜びを見出すことができたと考えられる。○コミュニケーションを円滑にするために、目を合わせて話すこと、大きな声で話すこと、お礼を言うことなど、相手を意識して話すことが必要であることがわかった。

②第2回 平成28年11月8日

資料②

単元名 好きな○○は何? "What ○○ do you like?" "I like ○."

(fruit, sport, color, animal)



G T : 計7人 (本校ALT含む)

鴨川市在住のG T (6人)

- ・ イブさん (フランス) ・ クリス・ハリントンさん (アメリカ)
- ・ ジャシタさん (オーストラリア) ・ トッドさん (アメリカ)
- ・ ティンクさん (イギリス) ・ バーニーさん (イギリス)

長狭小学校ALT (1人)

- ・ アンディ先生 (アメリカ)



第2回目は、好きな物を聞き合う活動を行った。果物、スポーツ、色、動物の中から、自分が聞きたいことについてG Tに質問したり、答えたりする活動をした。子どもたちは、前回の授業がとても楽しかったようで、楽しみにしていたようであった。

本単元では、第1回目の課題として、コミュニケーションを円滑にするために英語を話す時の3つの約束を決め、



掲示物を使って毎時間意識しながら授業を行った。3つの約束は、「① eye 相手の目を見る」、「② mouth 口を開ける」、「③ Thank you 握手してお礼を言う」の3点である。

今回は、前半はグループでコミュニケーション活動を行い、後半は、子ども一人ひとりがGTとコミュニケーション活動を行った。授業の途中に、GTのクリスさんから、英語で上手にコミュニケーションを行うためには、どうしたらよいか、アドバイスを話してもらった。クリスさんから、「自信を持って話してごらん。」ということをお言葉として頂いた。

また、上記の3つの約束を守ってGTと話すことができたかどうかをGTに評価してもらった。子どもが3つの約束通りに英語が話せたかどうかをGTに判断してもらい、チェックシートに評価を書いてもらった。

授業後の子どもの感想

資料⑤

- ・外国人に英語が伝わったと思いました。
- ・口を大きく開けて話したら、GTの方が楽しく話してくれたので話しやすかったです。
- ・クリスさんがアドバイスを教えてくれたから、うまく英語が話せました。
- ・恥ずかしがらないで、自然と英語が話せるようになりました。外国にいるような気分になりました。

考察 ○3つの約束を意識させ、練習してきたことで、GTに対して相手を意識したコミュニケーションができるようになってきた。

○1対1では、グループで話すときと比べて子どもは緊張したようである。引き続きGTとのコミュニケーション活動を積み重ね、自信をもって話せるようにしたい。

③第3回 平成29年3月15日

資料③

単元名 行きたい場所はどこ? "Where do you want to go?" "I want to go to ○○."



GT: 計7名 (本校ALT含む)

鴨川市在住のGT (3人)

- ・イブさん (フランス) ・マーティンさん (アイルランド)
- ・クリスさん (イギリス)

長狭小学校 ALT (1人)

- ・イヴァン先生 (フランス)

鴨川市在住の英語が堪能な日本人 (3人)

- ・三浦さん ・渡辺さん ・高梨さん



第3回目は、行きたい場所を聞いたり答えたりする活動を行った。今回は、GTが少なく、代わりに英語が堪能な日本人のボランティアの方に来て頂き、英語だけで話してもらい、授業を展開した。前回同様、グループでのコミュニケーション活動と、GTと子どもの1対1のコミュニケーション活動



を行った。

今回もG Tのクリスさんからアドバイスを頂いた。クリスさんからは、「緊張しないで、間違ってもいいから英語を話してみよう。」といった助言を頂き、その後は、より積極的に英語を話す姿が見られた。また、2回目と同様に、G Tから子どもが3つのポイントに気を付けて話せているかを評価してもらった。

授業後の子どもの感想

資料⑦

- ・ G Tと話して、最初は恥ずかしかったけど、後から恥ずかしくなくなって、上手にできたと思います。
- ・ 英語ができると、外国人とやっても全く緊張しないで、日本人としゃべっているみたいに感じました。
- ・ G Tと会話が通じてうれしかった。
- ・ 11月よりできた。G Tの目を見て大きな声で言えた。

考察 ○3回目ということで、G Tと話すことに子どもが慣れてきて、G Tに対し、抵抗感なく英語を話すことができた。

○グループはもちろん、1対1でも自信を持って英語を話せる子どもが増えてきた。

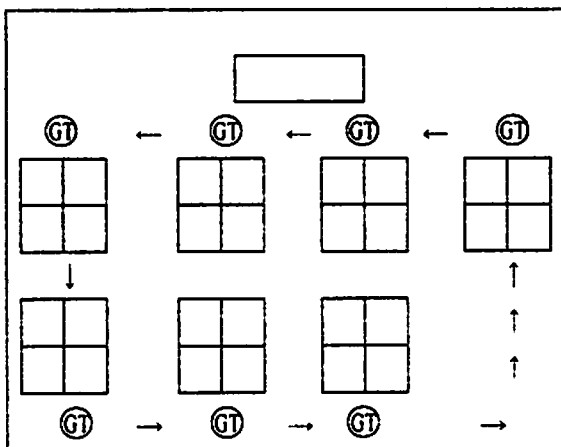
○ほぼ全員が、3つの約束を踏まえてG Tに対し、英語を話せるようになった。

○自分から進んでG Tに話しかけ、英語が通じる喜びを実感することができた。

(3) 話す機会や発話量を増やすための学習形態の工夫

①グループでのコミュニケーション活動（第1回～第3回で実施）

⑦・・・ゲストティーチャー



子ども4～5人のグループにG Tを一人ずつ配置する。5分間程度のコミュニケーション活動を行い、その後、G Tが隣のグループに移動する。子どもたちは新しいG Tとコミュニケーション活動を行う。この際、友だちと一緒にG Tに話しかけることができ、子どもたちは安心してコミュニケーション活動を行うことができる。また、友だちがG Tと話していることを一緒に聞くことができ、自分のコミュニケーション活動に生かすことができる。これを複数回繰り返した。1回目は緊張して、思うように英語が話せなかった子どもも、G Tが



ケーション活動の機会を増やし、発話量を増やすことができた。また、子どもたちが自分からG Tの方に話しかけに行くことができ、進んでG Tとコミュニケーションを図ろうとする態度を育てることができた。また、待っている間、友だちがG Tと話している場面を見ることで、自分がG Tと話すときの参考にすることができた。それにより、安心して1対1のコミュニケーションを行うことができた。

考察 ○机の配置を工夫して1対1のコミュニケーションをすることで、進んでG Tに話しかけ、発話量を増やすことができた。
○第2回の時はG Tと数人しか話せなかったが、今回はG T全員と話すことができた。

(4) 手立ての有効性の検証

①意識調査による実践前後の子どもたちの変容

実践前の2016年10月4日と実践後の2017年3月16日に子どもの意識調査を行った。結果は以下の通りである。(鴨川市立長狭小学校 3年生 27人)

①2016年10月4日					②2017年3月16日			
①外国語活動が好き	とても好き	好き	あまり好きでない	好きではない	とても好き	好き	あまり好きでない	好きではない
	7	15	5	0	15	6	5	1
②外国語がつどうは楽しい	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
	9	17	0	1	15	9	3	0
③外国語活動は得意	とても得意	得意	あまり得意でない	得意でない	とても得意	得意	あまり得意でない	得意でない
	1	10	8	8	8	9	5	5
④積極的に英語を使っている	積極的	使っている	あまり使っていない	使っていない	積極的	使っている	あまり使っていない	使っていない
	2	9	10	6	4	6	11	6
⑤積極的に英語を聞く	積極的	聞いている	あまり聞いてない	聞いてない	積極的	聞いている	あまり聞いてない	聞いてない
	11	8	5	3	12	9	4	2
⑥外国人と話すのは好きか	とても好き	好き	あまり好きでない	好きでない	とても好き	好き	あまり好きでない	好きでない
	6	7	10	4	8	10	5	4

①平均値	3.07	→	平均値	3.29	+0.22
②平均値	3.26	→	平均値	3.44	+0.18
③平均値	2.14	→	平均値	2.74	+0.60
④平均値	2.26	→	平均値	2.30	+0.04
⑤平均値	3.00	→	平均値	3.15	+0.15
⑥平均値	2.56	→	平均値	2.81	+0.25

※小数第3位を四捨五入

全項目で子どもの意識が向上しているのが分かる。特に、③の外国語活動は得意の項目が一番上昇している。G Tとのコミュニケーション活動を積み重ねた結果、英語を話すことに自信

を持つことができたと考えられる。

考察 ○G Tとのコミュニケーションを積み重ねたことで、英語を話すことに自信を持ち、外国語活動を得意と答える児童が増えた。

②授業後の振り返りカードによる実践後の子どもたちの変容

資料⑤・⑦

検証授業の第2回目と第3回目の授業後の振り返りカードによる子どもの意識調査は以下の通りである。

	2016年11月8日(27人)				2017年3月15日(27人)			
	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった	よくできた	できた	あまりできなかった	できなかった
①目を見て話す	16人	9人	2人	0人	16人	10人	1人	0人
②目を側に向けて語り	9人	15人	1人	2人	15人	10人	2人	0人
③お礼を言う	19人	6人	1人	1人	17人	9人	1人	0人
④手拍子と進んで話す	10人	12人	4人	1人	18人	7人	2人	0人

①平均値	3.52	→	平均値	3.56(+0.04)
②平均値	2.41	→	平均値	3.48(+1.07)
③平均値	3.62	→	平均値	3.59(-0.03)
④平均値	3.15	→	平均値	3.59(+0.44)

<振り返りカードの自由記述の欄より一部抜粋>

○意欲面に関わる記述

- ・おもしろい人や優しい人がいて話しやすかったです。外国人も日本人も大好きです。話すのが楽しいしもう1回やりたいです。
- ・僕は、G Tさんの皆さんと話してみても皆さんの行きたい場所が分かりました。また、皆さんと会ったら英語で話してみたいです。
- ・いろいろなことを聞かれたり、教えてもらったりして勉強になりました。新しいG Tがいてとてもうれしかったです。またやりたいです。

○話し方に関わる記述

- ・初めて会う人もいて、緊張したけど、前の交流会より、笑顔で相手の目を見て話すことができました。もっとやりたいです。
- ・11月よりできた。G Tの目を見て大きな声で言えた。
- ・少し緊張したけど、目を見て話すことができた。

第2回と第3回の自己評価を見てみると、どの項目も概ね数値が上昇している。G Tに対して英語が伝わるように話しているのがわかる。1の評価をしていた子どもが2以上の評価をつけていることがわかった。また、G Tと進んで話せている子どもも増えていることがわかる。これは、年間を通して、G Tと話す機会を設け、繰り返しコミュニケーション活動を行ったことで、G Tと話すことの楽しさや、英語が通じたことの喜びを実感することができたと考えられる。

考察 ○G Tとのコミュニケーション活動を継続的に取り入れることで、G Tと話すことの楽しさや、英語が通じることへの喜びを見出し、進んで英語を話せるようになった。

③G Tによる子どもたちの評価の変容

資料⑧

検証授業の第2回目と第3回目にG Tによる子どもたちの評価を行った。結果は以下の通りである。

	①2016年11月8日(27人)				②2017年3月15日(27人)			
	よくできた (4)	できた (3)	あまりできなかった (2)	できなかった (1)	よくできた (4)	できた (3)	あまりできなかった (2)	できなかった (1)
①相手の目を見て話せた	21人	5人	1人	0人	26人	1人	0人	0人
②口を開けて英語を話せた	16人	10人	1人	0人	26人	1人	0人	0人
③最後に「Thank you」を言えた	17人	8人	2人	0人	27人	0人	0人	0人

①平均値 3.74	→	平均値 3.96 (+0.22)
②平均値 3.56	→	平均値 3.96 (+0.40)
③平均値 3.56	→	平均値 4.00 (+0.44)

第3回では、ほぼ全員が約束を意識しながらG Tに対して英語を話していたことをG Tが評価している。また、第2回と比べて子どもたちが自信を持って英語を話していることを感じ取ったようである。さらに、G Tからのアドバイスのおかげで、子どもたちは間違いをおそれず、積極的にコミュニケーションを図っていたことも要因であると考えられる。

考察 ○G Tから評価により、子どもたちの変容を客観的に評価することができた。
○G Tの視点から、子どもたちが相手を意識して英語を話せていることが分かった。

7. 結論

(1) 研究の成果

- G Tとのコミュニケーション活動を継続的に位置づけることで、G Tと英語で話す楽しさや、英語が通じたことの喜びを見だし、自分から進んでG Tと英語で話すようになった。
- 相手を意識した話し方を掲示物を用いて毎時間意識させたことで、相手を意識したコミュニケーションができるようになった。
- G Tからアドバイスをもらったり、評価をしてもらったりして、子どもたちは自信を持って英語でコミュニケーションを図るようになった。
- 机の配置やG T、子どもの動きを工夫することで、G Tとの発話量を増やすことができ、全てのG Tとコミュニケーションを図ることができた。

(2) 研究の課題

- 学区に英語のG Tが在住していたおかげで今回の研究を実践することができた。今後も実践を継続していくためには、今後も地域の人材の発掘をしていく必要がある。
- 英語を話す時の3つの約束を、レベルの高いものに挑戦し、より実践に近い形のコミュニケーション活動を行っていきたい。
- 振り返りカードやG Tのチェックシートの質問事項を、さらに改善していく必要がある。

資料編

資料①

第3学年 外国語活動学習指導案

T1 齊藤 裕
T2 佐藤 芹香
ALT イヴァン

1. 単元名 好きなスポーツは何？

(1) 単元目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○進んで外国人や友だちと関わり、相手に伝わるようにコミュニケーションを図ることができる。

【外国語への慣れ親しみ】

○好きなスポーツを尋ねたり、答えたりする言い方に慣れ親しむことができる。

【言語や文化に対する気付き・理解】

○好きなスポーツを尋ねたり、答えたりする言い方を知り、日本語との違いに気づく。

(2) 指導計画（5時間扱い）

時	学習内容と活動	指導上の留意点（○） 評価（☆）
1	・ スポーツの言い方を練習する。 （20分）	○日本語と異なる言い回しを確認する。 ○はっきりと発音できるようにゆっくり発音させる。 ☆日本語との違いに気づくことができたか。
2	・ "Do you like ○○?", "Yes I do." "No I don't."の表現に慣れ親しむ。 （20分）	○4つの単語が続くので、自信を持って言えるように、1語ずつゆっくり発音し、慣れてきたら2語、3語、4語と連続して発音する単語を増やしていく。 ☆スポーツを表す単語や好きなスポーツを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができたか。
3	・ "Do you like ○○?", "Yes I do." "No I don't."を使ったスキットの練習をする。（20分）	○挨拶や自分の名前を加えて自然な会話になるやりとりを練習する。 ☆スポーツを表す単語や好きなスポーツを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができたか。
4	・ "Do you like ○○?", "Yes I do." "No I don't."を使って好きなスポーツを伝え合う。（友だち）（20分）	○練習したスキットを使って、友だちと好きなスポーツを伝え合う。 ☆進んで友だちと英語でコミュニケーションを図ることができたか。
5	・ "Do you like ○○?", "Yes I do." "No I don't."を使って好きなスポーツを伝え合う。（ゲストティーチャー）	○4～5人のグループに1人ゲストティーチャーを配置し、グループでコミュニケーションを図れるようにする。

(45分)	○時間が来たらゲストが次のグループに移動し、新しいゲストとコミュニケーションが図れるようにする。 ☆進んでゲストティーチャーとコミュニケーションを図ることができたか。
-------	---

2. 本時の指導 (5/5)

(1) 目標

○好きなスポーツを尋ねたり答えたりする英語を使って、外国人のゲストとコミュニケーションを楽しむ。

(2) 展開

時配	学習活動と内容	形態	指導上の留意点 (○) 評価 (☆)	資料
2	1. あいさつ "Good morning everyone!" "How is the weather today?" "What day is it today?"	一斉	○笑顔で挨拶をし、明るい雰囲気を作る。 ○天気と曜日を確認し、綴りを一文字ずつ確認する。	絵カード
3	2. めあての確認 ・本時のめあてを確認する。	一斉	○習った英語を使ってゲストと話すことを確認する。	めあての紙
ゲストティーチャーと好きなスポーツを伝え合おう。				
5	3. ゲスト入場・自己紹介	一斉	○拍手でゲストを迎え、ゲストの話を聞く。	CD
5	4. ウォームアップ 「Hello song」2回 ①グループのゲストとハイタッチ ②ゲストが隣に移動してハイタッチ	一斉	○歌を流して子どもとゲストにハイタッチをさせることで、話しやすい雰囲気を作り出す。	ワークシート
10	5. ゲストとのコミュニケーション活動① ・4人グループに1人ゲストが入り、英語でコミュニケーションをする。	グループ	○練習した英語を使って話すことを促す。 ☆進んでゲストとコミュニケーションを図ることができたか。	
10	6. ゲストとのコミュニケーション活動② ・ゲストが隣のグループに移動して2回目を実施する。	グループ	○練習した英語を使って話すことを促す。 ☆進んでゲストとコミュニケーションを図ることができたか。	
8	7. 振り返り ・振り返りシートに反省を書く。	個 一斉	○感想や初めて知ったことを発表する。	
1	8. 終わりのあいさつ	一斉	○よかった点を述べて、楽しい雰囲気で行われるようにする。	
1	9. ゲスト退場	一斉	○ゲストを拍手で送る。	

T1 齊藤 裕

T2 佐藤 芹香

ALT アンディ

1. 単元名 What ～ do you like?

2. 単元について

(1) 単元観

本単元は、以下に示す「鴨川市小中一貫教育の指導の重点（英語活動）」に基づいて設定している。

【聞く】 <育てたい力>

○英語特有のリズムや発音に慣れ親しみ、自然な発音をまるごと吸収する。

<指導の手立て>

○学校生活に関わる身近な話題を設定し、短い質問の意味を理解させる。

【話す】 <育てたい力>

○間違いを恐れず進んで英語を使い、コミュニケーションを楽しむ。

<指導の手立て>

○教員対子どもだけでなく、友だちとの会話を重視する。

【国際理解】 <育てたい力>

○世界のいろいろな人々と仲良くしようとする気持ちを持つ。

<指導の手立て>

○コミュニケーション・マナーを意識して活動させる。

子どもたちは、鴨川市の小学校外国語活動カリキュラムに沿って1年生から外国語活動を行ってきた。1～4年生までは、週に1回20分の授業を受けている。第1学年では、「おいしい果物」や「どんな色?」。第2学年では、「動物園へ行こう」。第3学年では、「私の好きなスポーツ」を学習してきた。

本単元では、今まで学習してきた単語を使って、相手の好きな物を尋ねたり、自分の好きな物を答えたりする。「What ～ do you like?」と「I like ○。」の文を使ってお互いのことを伝え合い、楽しくコミュニケーションを図れるようにしていく。

(2) 子どもの実態 (27人) 10月3日調査

1. 外国語活動は好きですか。

とても好き7人 好き15人 あまり好きではない5人 すきではない0人

2. 外国語活動は楽しいですか。

とても楽しい9人 楽しい17人 あまり楽しくない0人 楽しくない1人

3. 外国語活動は得意ですか。

とても得意1人 得意10人 あまり得意ではない9人 得意ではない7人

4. 積極的に英語を使おうとしていますか。

積極的に使っている2人 使っている9人 あまり使っていない10人

使っていない6人

5. 英語を積極的に聞こうとしていますか。

積極的に聞いている10人 聞いている8人 あまり聞いていない6人
聞いていない3人

6. 外国の人と話すのは好きですか。

とても好き6人 好き8人 あまり好きではない9人 好きではない4人

7. 人と話すときにどんなことに気をつけていますか。

- ・相手の目を見る ・おなかから声を出す ・ゆっくり話す ・わかりやすく話す
- ・言葉を間違えないようにしている ・しっかり発音を聞く ・呼び捨てにしない
- ・つかえないように話す ・年上に丁寧に話す ・呼び捨てにしない
- ・相手が何を言っているかちゃんと聞いてから話す ・悪い言葉を使わない

本学級の子どもは、活発な子どもが多く、外国語活動にも意欲的に参加している。外国語活動を楽しんでいると感じており、好きな子が多い。活動やゲームに対しては、進んで参加しているが、英語を進んで使おうとしている項目については、あまり積極的ではない。理由としては、「発音が難しいから。」「英語をあまり使わないから。」と言った理由が挙げられる。また、外国人の方と話す事については、楽しく話す事はできるが、緊張したり、英語がわからなかったり、恥ずかしかったりして、苦手意識を持っている子どももいる。

(3) 指導観

英語の学習意欲を高めるために、外国人を授業に招いて英語が通じる喜びを実感させる。

地域からゲストティーチャーを招いて、外国人と話す機会をたくさん設ける。外国人と実際に話す事で、自分の英語が通じることの喜びを実感させたい。英語を学習していて一番楽しいと感じるのは、自分の英語が外国人に通じたときであると考え。自分とは違う国の人と意思の疎通ができたことに喜びを感じ、英語に対する学習意欲を喚起したい。また、学習した英語を使う実践の場として捉え、単元の最終目標として位置づける。具体的には、第5時に7人のゲストティーチャーを呼び、子ども4人のグループに一人ずつゲストが入り、交流を行う。また、第5時の後半では、ゲストの前に列で並び、子ども個人で交流を行うようにする。

英語を話す時の約束を徹底し、相手に伝わるように話す。

話す相手を外国人であることを意識させ、外国人に伝えることを第1に考えさせる。そのために、英語を話すときの約束を決めて、毎時間意識させる。本単元での約束は以下の3つである。①"eye"相手の目を見る。②"mouth"大きく口をあけて話す。③"Thank you"お礼を言う。ペアで練習するときや、コミュニケーション活動に入る際に約束を確認し、相手に伝えることを意識したコミュニケーションを取らせる。

対話後の振り返りにより、よりよいコミュニケーションを行わせる。

第4時と第5時では、友だちや外国人とコミュニケーション活動を行う。活動が1回終わったときに、コミュニケーションの振り返りを全体で行う。視点としては、英語を話すときの約束が守れたかどうか、うまくいったこと、失敗したことなどを子どもから出させ、次の活動で何に気をつけていけばよいかを全体で確認する。また、第5時では、外国人からも振り返りを言ってもらい、子どもたちに外国人からの視点を意識させ、コミュニケーションを円滑にする

方法を考えさせる。

3. 単元指導計画

(1) 指導目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○進んで外国人や友だちと関わり、相手に伝わるようにコミュニケーションを図ることができる。

【外国語への慣れ親しみ】

○好きなものを尋ねたり、答えたりする言い方に慣れ親しむことができる。

【言語や文化に対する気付き・理解】

○好きなものを尋ねたり、答えたりする言い方を知り、日本語との違いに気づく。

(2) 指導計画（5時間扱い）

時	学習内容と活動	指導上の留意点（○） 評価（☆）
1	・スポーツ、色、果物、動物の言い方を復習する。（20分）	○1～3年生で学習した4つのカテゴリーの単語を復習する。 ○果物と動物は、"I like ○."で答えるときに、"s"が付くことをおさえる。 ☆4つのカテゴリーの名前と単語を慣れ親しむことができたか。
2	・"What ~ do you like?", "I like ○○."の表現に慣れ親しむ。（20分）	○長い文なので、1語ずつ発音したり、ゆっくり発音したり、変化をつけながら繰り返し練習をする。 ☆口を大きく開けて、はっきりと英語を発音することができたか。
3	・"What ~ do you like?", "I like ○○."を使ったスキットの練習をする。（20分）	○既習表現を使っているが、文の数が多いので、教員の後に一文ずつ発音させ、会話の流れがつかめるようにする。 ☆口を大きく開けて、はっきりと英語を発音することができたか。
4	・"What ~ do you like?", "I like ○○."を使って好きな物を伝え合う。（友だち）（20分）	○相手の目を見て伝わるように英語を話すことを意識させる。 ○会話が終わった後、"Thank you."と言って、握手してから次の友だちと話すようにさせる。 ☆相手の目を見て英語を話すことができたか。
5	・"What ~ do you like?", "I like ○○."を使って好きな物を伝え合う。（ゲストティーチャー）（45分）	○相手の目を見て話すこと、口を大きく開けて発音すること、"Thank you."を言うことを意識させる。 ○前半はグループでゲストティーチャーと

	話し、後半は個人で話すようにさせる。 ○時間を決めてゲストとのコミュニケーションを行い、活動の合間にフィードバックを全体で行う。 ☆ゲストティーチャーに伝えることを意識してコミュニケーションをすることができたか。
--	--

4. 本時の指導（5／5）※検証授業

（1）目標

○外国人に自分の英語が伝わるようにコミュニケーションを図る。

（2）展開

時配	学習活動と内容	形態	指導上の留意点（○）、評価（☆）			資料
			T1	T2	ALT	
1	1. あいさつ "Good afternoon everyone!"	一斉	○笑顔で挨拶をし、明るい雰囲気を作る。	○子どもと明るく挨拶をする。	○子どもと明るく挨拶をする。	単語カード
1	2. 歌 「Ten little witches.」	一斉	○曲に合わせて指で数字を表現しながら歌う。	○子どもと一緒に明るく歌を歌う。	○子どもと一緒に明るく歌を歌う。	CD
2	3. チャンツ "What ~ do you like?" "I like ○." ・リズムの速度を変えて2回行う。	一斉	○リズムに合わせて体を動かしながら、子どもと一緒に発音する。	○苦手な子どもの側に行き一緒に発音したり、補助をしたりする。	○子どもと一緒に明るくチャンツを行う。	キーボード スピーカー
2	4. チェーンゲーム "What ~ do you like?" ・英文を発音した子どもから座っていく。	グループ	○口を開けてはっきりと発音するように意識させる。	○必要なグループの補助をする。	○必要なグループの補助をする。	
2	5. スキット練習 ・T1とALTでスキットのお手本を示し、ペアで練習する。	ペア	○相手の目を見て話す事を意識させる。	○必要なペアの所に行き、補助をする。	○必要なペアの所に行き、補助をする。	
1	6. めあての確認 ・本時のめあてを確認する。	一斉	○英語の約束の3点を確認する。			

ゲストティーチャーと好きな物を伝え合おう。						模造紙
3	7. ゲスト紹介 ・外国人のゲストティーチャー6人を紹介する。	一斉	○ゲストの名前をはっきりと言い、一人ずつ紹介する。	○紹介の後に拍手をするように促す。	○ゲストと一緒に並び、紹介を受ける。	ゲストの名札
6	8. ゲストとのコミュニケーション① ※グループ1回目 ・4, 5人のグループに1人ずつゲストが入り、コミュニケーションを図る。	グループ	○練習したスキットの流れでゲストと話すように促す。 ☆相手に伝わるように英語を話す事ができたか。	○必要に応じてグループの補助に入る。 ○約束を意識して伝わるように話している子どもを誉める。	○子どもたちのグループに入り、子ども達とコミュニケーションを図る。	ワークシート
2	9. 振り返り① ・約束を意識して伝え合うことができたか確認する。	一斉	○約束を意識して話せている子どもを取り上げ、全体に確認する。	○約束を意識して話せているか確認をする。		
6	10. ゲストとのコミュニケーション② ※グループ2回目 ・ゲストティーチャーが、1回目のとなりのグループに移動し、新しいゲストとコミュニケーションを図る。	グループ	○振り返りを意識して、2回目のコミュニケーションを促す。 ☆相手に伝わるように英語を話す事ができたか。	○必要に応じてグループの補助に入る。 ○振り返りを意識して話せている児童を誉める。	○子どもたちのグループに入り、子ども達とコミュニケーションを図る。	
2	11. 振り返り② ・ゲストから、英語が伝わるようにするための助言をもらう。	全体	○ゲストから良かった点、改善点を話してもらうように促す。			
1	12. ペア練習 ・振り返り①と②を生か	ペア	○練習後、ゲストからの	○必要に応じてペアの補	○必要に応じて子どもの	

	してペアでスキットを再度練習する。		助言を意識して話せたか確認する。	助に入る。	補助をする。	
10	13. ゲストとのコミュニケーション③ ※個人 ・ゲストの前に子どもが 一列に並び、ひとり一 人でゲストとコミュニ ケーションを図る。	個人	○子どもがス ムーズに活 動に入れる よう声かけ をする。 ☆相手に伝わ るように英 語を話す事 ができたか。	○ゲストに近 くに立ち、 苦手な子ど もの補助を する。 ○約束を意識 して伝わる ように話し ている子ど もを誉める。	○子どもたち の前に立 ち、子ども 達とコミュニ ケーションを図る。	振り 返り カード
5	14. 振り返り③ ・振り返りカードの自己 評価と感想を記入す る。 ・子どもとゲスト1人ず つ感想を発表する。	全体	○ゲストと話 してみても うだったか、 わかったこ とは何かと 発問し、振 り返りの視 点を与える。	○振り返りの 書けない児 童の側に行 き、グルー プの時はど うだったか、 等と、場面 を限定して 振り返りを させる。		
1	15. 終わりの挨拶	全体	○楽しい雰囲 気で終われ るように明 るく挨拶を する。	○良かった点 を1つ述べ てから挨拶 をする。	○良かった点 を1つ述べ てから挨拶 をする。	

何の〇〇がすき？(ゲストと) 名前()

- ①「Hi.」
- ②「My name is △△ △△.」
- ③「Nice to meet you.」
- ④「I like □□.」
- ⑤「What ○○ do you like?」
- ⑥「Thank you.」 ※あくしゅをしましょう。

英語を伝えるためのポイント



ゲストティーチャー	sport	color	fruit	animal
アンディ先生				
クリスさん				
ディンクさん				
イブさん				
トッドさん				
バーニーさん				
ジャンタさん				
三浦アークさん				

(ゲスト用チェックシート)

Checksheet about communication skills				
(子どもの写真)	(子どもの名前)			
	① Was he/she able to talk to see your eyes?	② Was he/she able to speak English clearly opened the mouth?	③ Was he/she able to say the thanks to you?	
	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	
(子どもの写真)	(子どもの名前)			
	① Was he/she able to talk to see your eyes?	② Was he/she able to speak English clearly opened the mouth?	③ Was he/she able to say the thanks to you?	
	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	
(子どもの写真)	(子どもの名前)			
	① Was he/she able to talk to see your eyes?	② Was he/she able to speak English clearly opened the mouth?	③ Was he/she able to say the thanks to you?	
	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	
(子どもの写真)	(子どもの名前)			
	① Was he/she able to talk to see your eyes?	② Was he/she able to speak English clearly opened the mouth?	③ Was he/she able to say the thanks to you?	
	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	
(子どもの写真)	(子どもの名前)			
	① Was he/she able to talk to see your eyes?	② Was he/she able to speak English clearly opened the mouth?	③ Was he/she able to say the thanks to you?	
	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	◎ ○ △ ×	

資料③

第3学年 外国語活動学習指導案

指導者 T1 齊藤 裕

T2 佐藤 芹香

ALT イヴァン

1. 単元名 どこに行きたいの？

(1) 単元目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○進んで外国人や友だちと関わり、相手に伝わるようにコミュニケーションを図ることができる。

【外国語への慣れ親しみ】

○行きたい場所を尋ねたり、答えたりする言い方に慣れ親しむことができる。

【言語や文化に対する気付き・理解】

○行きたい場所を尋ねたり、答えたりする言い方を知り、日本語との違いに気づく。

(2) 指導計画（8時間扱い）

時	学習内容と活動	指導上の留意点（○） 評価（☆）
1	・場所を表す単語を練習する。 （20分）	○ゆっくり発音し、子どもが正しく発音できるようにする。 ☆場所の英語を聞いて、日本語との違いに気付くことができる。
2	・場所を表す単語を練習する。 （20分）	○口を大きく開けて発音できるように、掲示物を黒板に貼り、意識させる。 ☆口を大きく開けて、はっきりと英語を発音することができたか。
3	・"Where do you want to go?", "I want to go to ○○."の表現に慣れ親しむ。（20分）	○英文が長いので、単語一つ一つを丁寧に発音していき、慣れてきたら、2語、3語と連続で発音する単語を増やしていく。 ☆場所を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができたか。
4	・"Where do you want to go?", "I want to go to ○○."の表現に慣れ親しむ。（20分）	○相手の目を見て英語を話せるように掲示物を貼り、意識させる。 ☆相手の目を見て英語を話すことができたか。
5	・"Where do you want to go?", "I want to go to ○○."の表現を使ったスキットの練習をする。（20分）	○挨拶や自分の名前を伝える英語を加えて行きたい場所を尋ねたり答えたりする会話の練習をする。 ☆学習した英語を使って行きたい場所についての会話をすることができたか。
6	・"Where do you want to go?",	○会話が終わる際、"Thank you"と言って

	"I want to go to ○○."の表現を使ったスキットの練習をする。(20分)	握手するように掲示物を貼り、意識させる。 ☆"Thank you"と言って握手をすることができたか。
7	・"Where do you want to go?"を使って行きたい場所を尋ねたり答えたりする。 (友だち)(45分)	○相手の目を見て話すこと、口を大きく開けて発音すること、"Thank you."を言うことを意識させる。 ☆友だちに自分の英語を伝えることを意識してコミュニケーションをすることができたか。
8	・"Where do you want to go?"を使って行きたい場所を尋ねたり答えたりする。 (ゲストティーチャー)(45分)	○前半はグループでゲストティーチャーと話し、後半は個人で話すようにさせる。 ○相手の目を見て話すこと、口を大きく開けて発音すること、"Thank you."を言うことを意識させる。 ☆ゲストティーチャーに自分の英語を伝えることを意識してコミュニケーションをすることができたか。

2. 本時の指導(8/8)

(1) 目標

○行きたい場所を尋ねたり答えたりする英語を使って、外国人のゲストとコミュニケーションを楽しむ。

○外国人のゲストに英語が伝わるように3つの約束を意識して話す。

(2) 展開

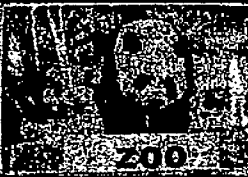
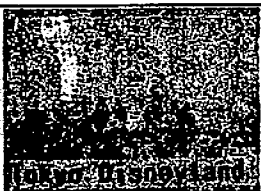
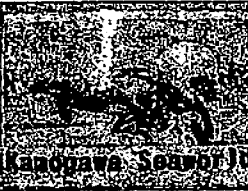
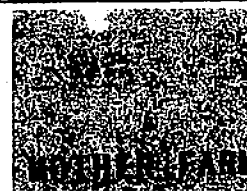
時配	学習活動と内容	形態	指導上の留意点(○) 評価(☆)	資料
1	1. あいさつ "Good morning everyone!" "How is the weather today?" "What day is it today?"	一斉	○笑顔で挨拶をし、明るい雰囲気を作る。 ○天気と曜日を確認し、綴りを一文字ずつ確認する。	絵カード
2	2. めあての確認 ・本時のめあてを確認する。	一斉	○習った英語を使ってゲストと話すことを確認する。	めあての紙
	ゲストティーチャーと行きたいところを伝え合おう。			
	・英語の3つの約束を確認する。 "mouth (口を開けて)" "eye (相手の目を見る)" "Thank you (お礼と握手)"		○外国人に、自分の英語が伝わるように、3つの約束を意識させ、円滑なコミュニケーションができるようにする。	

1	3. ゲスト入場	一斉	○拍手でゲストを迎える。	
2	4. ウォームアップ 「Hello song」 2 回 ①グループのゲストとハイタッチ ②ゲストが隣に移動してハイタッチ	一斉	○歌を流して子どもとゲストにハイタッチをさせることで、話しやすい雰囲気を作り出す。	CD
6	5. ゲストとのコミュニケーション活動① ・ 4 人グループに 1 人ゲストが入り、英語でコミュニケーションをする。	グループ	○練習した英語を使って話すことを促す。 ☆約束を意識して英語を話しているか。	ワークシート
3	6. 振り返り (ゲスト) ・ ゲストに良かった点と改善点を話してもらう。	一斉	○前もって決めておいたゲストに子どもたちの様子を見て、アドバイスをもらう。	
7	7. ゲストとのコミュニケーション活動② ・ ゲストが隣のグループに移動して 2 回目を実施する。	グループ	○ゲストにグループの子どもに 3 つの約束が意識できているかどうか評価をしてもらう。 ○ 2 回目終了の際に、挙手でゲストのアドバイスを意識してはなせたかどうかを振り返る。	評価シート
13	8. ゲストとのコミュニケーション活動② ・ 子どもが一人でゲストのところに行き、英語で話す。	個別	○グループの机の番号順にゲストと 1 対 1 で話をするように子どもを促す。 ☆約束を意識して英語を話しているか。	
8	7. 振り返り ・ 振り返りシートに反省を書く。	一斉	○ 3 つの約束を意識できたかを振り返らせ、感想を発表させる。	
1	8. ゲスト退場	一斉	○ゲストを拍手で送る。	
1	9. 終わりのあいさつ	一斉	○よかった点を述べて、楽しい雰囲気で終われるようにする。	

どこに行きたいですか？ 名前()

- ①「Hi.」
- ②「My name is ○○ ○○.」
- ③「Where do you want to go?」
- ④「I want to go to ○○.」
- ⑤「Thank you.」

※英語を伝えるための3つのポイント

 eye 相手の目を見る	 mouth 口を開ける	 Thank you お礼を言う		
 sea	 zoo	 stadium	 ski resort	 amusement park
 Tokyo Disneyland	 UNIVERSAL STUDIOS JAPAN	 Kanagawa Seaworld	 WATER PARK	 CAMPING

資料④

振り回りカード① 10月26日 直前授業（友だち同士でのコミュニケーション活動）					
	相手の目を見て 離すことができた。	口を開けて英語 を話すことができた。	話の最後に 「Thank you.」 といって握手で きた。	進んで友達と英 語を話すことが できた。	わかったことや感じたこと
A	3	3	3	4	英語ってすごく楽しいんだな—と感じました。にこにこ楽しくできて楽しかったです。
B	4	4	4	4	進んでやってくれた人がいたからすごい優しいなと思いました。
C	4	3	3	3	ちょっと難しかったです。友達と話したら、すぐわかった。たくさん話せた。
D	3	4	4	4	友達と英語をしゃべってうまくできてよかったです。
E	4	4	4	4	英語を人と話すのは、難しいことが分かった。
F	3	4	4	3	英語を話して気持ちが高まったかも。楽しく出来てよかった。
G	3	4	4	3	みんな口を大きく開けていて楽しく話せました。最初の時は握手が出来なかったけどやると気持ちがよかったです。
H	3	3	4	3	みんなはっきり、目を見て言っていたので、よく聞こえました。わたしも目、口に氣をつけて言えました。
I	4	4	4	4	大きな口で話したり、目をよく見て話したりすると、よく伝わるのが分かりました。外国に言っているような気分になりました。
J	4	2	4	4	みんなスポーツや果物が1つ1つ違いました。
K	4	4	4	4	友達の目を最後まで見ました。そしていろいろな人と出来ました。すこし難しかったけど練習したから出来るようになりました。友達の声がよく分かりやすく話してくれました。
L	2	1	3	1	友達の好きな物が分かりました。
M	3	3	3	4	英語で話すのは難しいことが分かりました。人の目を見て口を大きく開けて、最後に握手することができてよかったです。
N	3	2	4	3	みんな意外な物が好きで少しびっくりしました。
O	4	4	4	4	好きな色、スポーツ、動物、フルーツのどれか好きな物がたくさんあって面白かったです。
P	3	3	4	3	聞いた人の好きなスポーツがよくわかりました。これを外国人が来たときにやりたいです。
Q	4	4	4	2	みんな目を見てすごいなと思いました。みんな笑顔でやっていたうれしい気持ちになりました。みんなが発音がきれいでびっくりしました。
R	3	3	4	3	僕は、友達と英語を話して、友達が言った英語がよくははっきり分かりました。
S	4	3	4	4	僕は、Rさんと話して口が大きく開いていて僕も真似をしてみたいです。
T	3	2	4	4	よく伝わってみんな8人の外国人に話せるくらいうまくかったです。
U	3	4	4	3	友達の発音がよくわかりやすく言ってくれたからとてもわかりやすかったです。友達がやろうと言って誘ってくれたから、口の中を全部埋めることが出来ました。
V	1	4	3	2	英語は楽しいんだな—というのが分かりました。友達と話すのが恥ずかしかったです。
W	3	3	4	3	動物でキャットが多かったです。みんな英語がしゃべれていました。とてもすごかったです。
X	4	3	4	4	外国の人に伝わりそうな人がほとんどでした。英語は意識しないと伝わらないことが分かりました。
Y	4	4	4	4	英語で話してみても相手の好きなスポーツなどがわかった。楽しかった。
Z	4	2	3	3	英語がわくわくしました。
AA	3	4	3	3	友達の発音がよく分かりました。

資料⑤

振り返りカード② 11月8日 検証授業② (GTとのコミュニケーション活動)

	相手の目を見て 聴くことができた。	口を開けて英語 を話すことができた。	話の最後に 「Thank you.」 という選手で きた。	進んで友達と英 語を話すことが できた。	わかったことや感じたこと
A	4	4	4	4	クリスさんが自信を持って話してみ、と言って、そうかと思って話してみたら、笑顔でゲストティーチャーの人と話せたからうれしかったです。英語はやっぱり楽しいなと思いました。
B	3	3	3	3	ゲストティーチャーは、やさしく笑顔でガッツポーズをしてくれた。仲良く出来てうれしかったです。
C	3	3	4	2	進んで言うてくれた。英語とは普通に話せるけど外国人とでは、すごく緊張した。
D	4	4	4	3	外国の人としゃべってみてよく英語が話せませんでした。クリスさんが英語をはっきり言ってくれたから、はっきり言えてよかったです。
E	4	3	4	3	外国の人は話すのが上手だな。
F	4	4	4	4	いろいろな英語があることが分かりました。外国の人といっぱい話せた。
G	4	4	4	4	口を大きく開けて話したら、ゲストティーチャーの方が楽しく話してくれたので話しやすかったです。
H	3	3	4	3	はじめは、緊張したけどだんだん慣れてきてスムーズに話せてよかったです。
I	4	4	4	4	恥ずかしがらないで自然と英語が話せるようになりました。外国にいる気分になりました。
J	4	2	3	3	外国の人たちと話すことが楽しかったです。英語を話すのは難しかったです。
K	4	4	4	4	私は、ゲストティーチャーといっぱい話せてとても楽しかったです。
L	3	3	2	3	自分で英語を話すのが難しかったです。
M	4	3	3	3	英語は難しいのに、外国人はすらすら言えるんだと思いました。
N	3	3	4	4	いろいろな人と友達になれました。すごく楽しかったです。あと、すごく英語が話せるようになってよかったです。
O	3	3	4	3	みんな笑顔で話してくれてうれしかったです。いろいろな英語が出てきて面白かったです。
P	4	3	4	3	もっとたくさん話したかったです。今日は楽しかったです。
Q	2	1	4	2	クリスさんが話してくれた「自信を持つこと」をやろうと思いました。
R	4	4	3	4	ゲストティーチャーの方の英語はわからなかったときもあったけど、分かった方が多かったです。
S	3	1	4	3	僕は、いろいろな外国人と話して、いろんな言葉が出てきて、よく分かりました。
T	4	3	4	2	きちんと外国人に伝わって、「うまくできた」と思いました。いろいろな質問をして、とても楽しかったです。最後にたくさん出来て、うれしいし、とても笑顔になりました。
U	4	3	3	4	クリスさんがアドバイスをくれたから、うまく英語を話すことが出来ました。
V	3	3	1	1	かなり恥ずかしかった。初めて話す人もいたけど、たくさん話せて楽しかったです。
W	3	3	4	3	いろいろなゲストティーチャーの人が、最初は分からなかったけど教えてもらってすごくその英語が分かりました。
X	4	4	4	4	緊張をして間違えてしまっても理解してくれてすごいと思いました。面白い人がいて楽しかったです。
Y	2	3	4	3	「自信を持って」ということが分かりました。
Z	4	3	4	3	英語を伝えるためには、自信を持って言うことが分かった。
AA	3	3	4	2	外国人に伝わったと思いました。英語を話すのが難しかったです。

資料⑥

振り返しカード③ 3月9日 直前授業 (友だち同士でのコミュニケーション活動)

	相手の目を見て 聴くことができた。	口を開けて英語 を話すことができた。	話の最後に 「Thank you.」 といって握手で きた。	進んで友達と英 語を話すことが できた。	わかったことや感じたこと
A	3	4	2	3	英語はこんなに楽しいんだとわかりました。ぼくが大きくなって英語がいっぱいしゃべれるといいなあと思いました。
B	2	3	2	2	友達の行きたいところがあった。
C	4	3	3	3	すごく上手に英語の発音などを言っていました。
D	3	4	3	4	みんながちゃんと英語を話せていてうまくなったなと思いました。
E	3	4	3	3	みんなと英語をすると楽しい。みんなの発音が自分と違って面白い。
F	2	2	2	2	みんなうまかったです。英語のオーラがありました。ぼくも少し出来たと思いました。
G	3	4	4	4	みんな発音がうまくて相手の目を見て言ってくれてうれしかったです。特にほとんどの人が最後に握手してくれたのでうれしかったです。
H	2	3	3	3	みんなとたくさん話せてよかったです。みんな英語の発音がとても上手で少しびっくりしました。
I	4	4	4	4	外国人になった気分になりました。あと、英語でいうと、日本語よりも言葉が長くなる物が多いと分かりました。友達とたくさんやると、本当の外国人としゃべるときに上手に言えそうです。「want to go camping」がうまく言えました。
J	3	2	3	2	英語の最後のあたりが難しかったです。単語が難しかったです。
K	4	4	4	4	わたしは、難しい英語を言えるようにとてもうれしかったです。
L	2	2	2	2	みんなの行きたいところがありました。本当に行きたいところに行けたらいいです。
M	3	3	2	3	いろいろな行きたい場所があるんだなあと思いました。
N	3	3	2	2	みんな口を大きく開けていたから、声が聞き取りやすかったです。
O	4	4	3	4	外国に行ったら、これが基本だから、外国の人はすごいなあと思った。
P	3	3	2	3	友達とやって、友達の行きたいところがあったのでびっくりしました。
Q	4	4	4	4	みんな最初の方はつかえていたけど、みんなが覚えてくれてうれしかった。みんながはっきり言っていたからすごいなあと思いました。
R	3	4	4	3	英語は難しかったけど、友達とやりとりができて、とても楽しかったです。
S	3	3	4	3	いろいろな人と英語を話せてみんなが行きたいところがありました。みんなも僕も英語をすらすら言えてすごいと思いました。僕も英語の成績が上がると思いました。
T	3	3	4	4	行きたい場所が相手によく伝わってとても楽しかったです。みんな笑顔でやれてうれしかったです。
U	3	3	4	4	話が伝わってきていいなと思いました。英語では、発音がよくて、声の大きさもちょうどよくてわかりやすかったです。相手の目をしっかり見てはなしていたのでよかったと思います。
V	4	4	4	3	いろいろなことを話せてよかった。これで外人といろいろ話せるようになったことがうれしかった。
W	3	4	2	3	みんな英語でちゃんとゆっくり言っていたのがびっくりしました。声も大きくて聞きやすかったです。目もちゃんと合ってたのがすごかったです。みんな自分が好きなところを言っていて、どこが好きなのが分かりました。
X	3	4	4	4	発音がうまく出来ていた人が半分以上いたと思った。
Y	4	4	3	3	英語で話してみても楽しかったです。
Z	3	2	2	3	英語は難しいと思っていたけど、がんばればできた。
AA	4	4	4	4	すごい上手でした。楽しかったです。難しかったところもありました。

資料⑦

振り返りカード④ 3月16日 検証授業③ (GTとのコミュニケーション活動)

	相手の目を見て 離すことができた。	口を開けて英語 を話すことができた。	話の最後に 「Thank you,」 といって離すことができた。	進んで友達と英 語を話すことができた。	わかったことや感じたこと
A	4	4	4	4	初めて会う人もいて、緊張したけど、前の交流会より、笑顔で相手の目を見て離すことができて、楽しかったです。もっとやりたい。
B	4	4	4	4	面白い人もいて優しい人がいて話しやすかったです。外国人も日本人も大好きです。やりたいことも出来てうれしい。楽しいおもしろいもう1回やりたいです。
C	3	2	3	2	ゲストと話をして楽しかったです。ゲストと金話が通じてうれしかった。
D	3	4	4	4	ゲストティーチャーとちゃんと英語で話せてとてもよかったです。あといっぱい質問できてよかったです。
E	4	3	4	4	少し緊張したけど目を見て話せたからよかった。
F	4	4	4	4	ゲストティーチャーと話せてよかった。
G	4	4	4	4	緊張したけど話す楽しかったです。
H	3	3	3	3	練習の時と違ってゲストティーチャーの方が楽しく話せた。
I	4	4	4	4	ゲストの方は、みんな目当てのことが出来てすごいなと思いました。英語が出来ると、外国人とやっても、まったく緊張しないで日本の人としてしゃべっているみたいに感じました。
J	2	3	4	3	ちょっと緊張したけど、大きな声ですらすら言えました。恥ずかしかったけど楽しかったです。
K	4	4	4	4	私は、緊張をしました。ゲストティーチャーの目を見て話すことが出来ました。
L	3	3	3	3	11月よりできた。ゲストティーチャーの目を見て大きな声で言えた。
M	3	3	3	4	みんな色々な行きたい場所があるんだなあとわかりました。
N	4	2	3	2	ゲストティーチャーの人は、日本語が出来るとのなんで英語で話すんだろうと思いました。
O	4	4	4	4	目をよく見ると、日本人は黒だけど外人は、色が違うからびっくりした。
P	4	4	4	4	ゲストティーチャーの行きたい場所が分かってよかったです。
Q	4	4	4	4	緊張したけど楽しく英語が話せました。ゲストの方は、みんな優しく教えてくれました。私は、すらすら言えないけど優しく教えてくれてよかった。
R	3	3	4	4	ゲストティーチャーの人は英語がうまかったから話しやすかったです。ゲストティーチャーさんのおかげで英語を覚えられました。
S	3	4	4	4	僕は、ゲストティーチャーの皆さんと話してみても皆さんの行きたい場所が分かりました。また皆さんと会ったら英語で話してみたいです。
T	4	3	4	3	いろいろなことを聞かれてまた、違うことを教えてもらって、まだまだ勉強になりました。新しいゲストティーチャーがいてとてもうれしかったです。またやりたいです。
U	3	4	2	4	少し注意されたけど、その後は優しくとてもよかったです。クリスマスさんの家遊びに行きたいです。
V	4	4	4	4	ゲストティーチャーの人がどこに住んでいるのか、どこに行きたいのか分かってよかったです。
W	4	3	3	3	ゲストティーチャーの人と英語でしゃべるのがとても緊張しました。
X	4	4	4	4	最初は恥ずかしかったけど、後から恥ずかしくなくなって上手に出来たと思います。
Y	3	3	3	3	ゲストティーチャーと全員で話せてよかったし、楽しかった。
Z	4	4	3	4	英語は難しいけど、覚えれば簡単。
AA	3	3	3	3	すごい緊張しました。楽しかったです。

資料⑧

GTによる評価

11月8日 検証授業② GTとの授業			
	相手の目を見て 離すことができた。	口を開けて英語を 話すことができた。	話の最後に「Thank you.」と言うことが できた
A	4	4	4
B	4	4	4
C	3	3	3
D	3	3	4
E	4	4	4
F	3	3	2
G	4	4	4
H	4	4	4
I	4	3	3
J	4	4	4
K	4	4	4
L	4	3	3
M	4	4	4
N	3	3	2
O	4	3	4
P	4	4	4
Q	4	3	4
R	4	4	4
S	4	4	3
T	4	4	4
U	4	4	3
V	3	3	3
W	4	4	3
X	4	4	4
Y	2	2	3
Z	4	3	4
AA	4	4	4

3月15日 検証授業③ GTとの授業			
	相手の目を見て 離すことができた。	口を開けて英語を 話すことができた。	話の最後に「Thank you.」 と言うことができた
A	4	4	4
B	4	4	4
C	3	3	4
D	4	4	4
E	4	4	4
F	4	4	4
G	4	4	4
H	4	4	4
I	4	4	4
J	4	4	4
K	4	4	4
L	4	4	4
M	4	4	4
N	4	4	4
O	4	4	4
P	4	4	4
Q	4	4	4
R	4	4	4
S	4	4	4
T	4	4	4
U	4	4	4
V	4	4	4
W	4	4	4
X	4	4	4
Y	4	4	4
Z	4	4	4
AA	4	4	4

甲府川市英語活動カリキュラム

小学校全学年レッスンテーマ一覧			
	年次別		
	1年	2年	3年
1	あいさつをしよう H.11	数字【11～20】 H.11	数字【1～60】 H.11・2
2	My name is ～.	Eleven, Twelve, Thirteen, Twenty,	One, Two, Eleven, Twelve, Thirteen,
3	Nice to meet you.		Twenty, Thirty, Forty, Fifty, Sixty
4	数字【1～10】 H.11	身体	私の好きな野菜
5	One, Two, Three, Four, Five, Six, ...	Face, Eyes, Nose, Feet, Hip, ...	Onion, Tomato, Cabbage, Pumpkin, Corn
6		Touch your ○○.	I like ～.
7	動作をしてみよう I	今日の天気は	You like ～.
8	Stand up, Sit down, Walk, Run, ...	Sunny, Cloudy, Rainy, Snowy, Windy,	私の好きなスポーツ H.11
9	Simin says ～.	How is the weather? It's sunny.	Soccer, Baseball, Tennis, Kendo,
10		曜日の言い方 H.11	I don't like ～.
11	おいしい果物 H.11	Sunday, Monday, Tuesday, Thursday,	季節【春・夏】
12	Apple, Orange, Banana, Grapes, ...	What day is it today?	Season, Spring, Summer, Flower, Tulip,
13		It's Friday.	Summer vacation, Fire works, Hot, Warm
14		昆虫をつかまえよう H.11	
15	わたしのペット H.11	Bee, Butterfly, Dragonfly, Cicada, Ant,	私の家族
16	Dog, Cat, Hamster, Rabbit, Mouse, ...	What's this?	Father, Mother, Brother, Sister,
17			This is my ～.
18		アルファベットで遊ぼう H.11	私の誕生日 H.11・2
19	どんな色? H.11	言えるかな ABC	January, February, August, December,
20	Red, Green, Blue, Yellow, White, ...	ハロウィーン【異文化理解】	Birthday
21	Touch the color.	Witch, Skeleton, Wizard, Bat, Vampire,	
22		Craft 絵本 What is Halloween	私の持ち物【服飾類】
23	これ、なあに? H.11	Trick or Treating	Skirt, Jeans, T-shirt, Hat, Shoe, Cap,
24	What's this? It's ～. Ex. Fruits, Pets,	おやつ H.11	I have ～.
25	アルファベットで遊ぼう H.11	Ice cream, Candy, Cake, Cookie, ...	You have ～.
26	ABC の歌	I like ～.	クリスマス【異文化理解】
27	クリスマス【異文化理解】		外国のクリスマス
28	Santa Claus, snowman, candle, bell,	動物園へ行こう	クリスマスカード作り
29	candy cane, star, heart, angel,	lion, rabbit, tiger, pig, monkey, mouse,	
30	動作をしてみよう II	gorilla, kangaroo, giraffe, elephant, fox,	動作をしてみよう III
31	Touch, Head, Shoulders, Knees, ...	Animal sounds.	Front, Back, Up, Down, Right, Left
32	Touch your ～.	どんな形? H.11	Walk, Run, Jump, Clap your hand
33	乗り物 H.11	どのくらいの大きさ?	アルファベットで遊ぼう
34	What's this?	Shape, circle, triangle, square, heart, star,	わかるかな ABC H.11
35	Car, Bus, Train, Truck, Ship, Bike, ...	rectangle, diamond.	
36	1年間のまとめ	1年間のまとめ	1年間のまとめ

中 期		
4 年	5 年	6 年
私の持ち物【文房具】 H.n1 Pen, Pencil, Book, Notebook, Eraser, I have ~.	時間と時刻 (世界の時刻) H.n2 What time is it? It's ○○ o'clock.	いくつあるかな【100, 1000, 10000】 How many ~ are there? H.n1 There are three.
Do you have ~? スポーツしよう Let's play the kick baseball. Roll the ball. Kick the ball. Pass the ball. Touch the base.	カレンダー H.n2 1 st . 2 nd . 3 rd . 4 th 31 st . Sea World へ行こう【海の生き物】 Dolphin, shark, crab, starfish, prawn, seal, killer whale, sea horse, turtle	誕生日はいつ?【Interview】 H.n2 When is your birthday? My birthday is~ 一日の生活 H.n2 get up, go to school, eat lunch, go to bed What time do you ~ ? ;
今、何時? H.n2 What time is it? It's ○ o'clock.	レストランへ行こう H.n1 ◇ 注文するまで How many, This way, Here is menu. ◇ 注文してみよう 何をしているの【動作】 Jumping, Running, Eating, Swimming What are you doing? I'm ~ing.	時間割を作ろう H.n2 Math, Japanese, Music, P.E., Science I study Japanese on Monday.
私の教室 Blackboard, Chalk, Clock, Desk, Window	比べてみよう【形容詞】 Heavy, Light, Big, Small, Hot, Cold Which is ~? 私たちの町(Town map) H.n2 School, Hospital, Post office, Library Where are you going?	学校めぐりをしよう(宝探し) H.n2 Science room, Staff room, Gym, Let's go to the ~.
紹介してみよう【彼女(彼)】 Friend, Teacher, I, You, He, She Who is he (she)? He (She) is my ~.	私たちが町(Town map) H.n2 School, Hospital, Post office, Library Where are you going?	ショッピングモールで買い物しよう 【季節の服装】【文房具】【料理の材 料】 色 サイズ 数の復習 May I help you? What color? どこが痛いのか?【病院】 My ○○ hurt. What's wrong? I have ~ache.
ハロウィーン【異文化理解】 Which, Skeleton, Wizard, Trick or treat! どこにある(居る)の? in, on, under, near by, behind, next to Where is ~ ? It's ~.	道案内をしよう Guide H.n2 Go straight, Turn right, Turn left Excuse me. Where is ~ ? ~できるかな? H.n2 Swim, Cry, Run, Drink, Jump, Sleep, Can you ~?	感謝祭 Thanks giving day【異文化理解】 仕事はなあに H.n2 Student, fire fighter, cook, nurse, singer What's his job? What do you want to be? I want to be ~.
季節【秋・冬】 fall, winter, fallen leaves, snow, new year, cool, cold, 秋の葉や寒クラフト	お茶会をしよう Let's have a cup of tea. Would you like ~? Afternoon tea, saucer, spoon, sugar.	いろいろな国の位置 H.n1・2 【異文化理解】 Canada, Australia, China, England, Korea Where's America? It's here.
アルファベットで遊ぼう H.n2 大文字と小文字	イースター【異文化理解】 What is easter? Easter Egg making Egg hunting	探偵になろう【形容詞】 Tall, Short, Fat, Big, Small, Red, Yellow
ハンバーガーショップで H.n1 May I help you? Yes 2 chicken please. Here you are. Thank you. Have a nice day.	1 年間のまとめ	1 年間のまとめ